

令和6年度 函館市高齢者計画策定推進委員会 会議概要

■ 日 時

令和7年2月18日（火） 18時30分～20時10分

■ 場 所

市役所本庁舎 8階第2会議室

■ 議 事

- （1）地域包括ケア「見える化」システムを活用した介護保険事業の現状等の把握について
- （2）計画の進捗状況について
- （3）成果指標に関する施策の現時点の状況等について
- （4）施設・居住系サービス基盤の整備状況について

■ 配付資料

- ・ 会議次第
- ・ 資料1 地域包括ケア「見える化」システムを活用した介護保険事業の現状等の把握について
- ・ 資料2 計画の進捗状況について
- ・ 資料3 成果指標に関する施策の現時点の状況等について
- ・ 資料4 施設・居住系サービス基盤の整備状況について
(令和6年度 地域密着型サービス等整備 ・ 運営事業者の選定結果)

■ 出席委員（11名）

朝倉委員，池田委員，大住委員，大槻委員，小西委員，齋藤委員，三田委員，四戸委員，
中村委員，能川委員，渡部委員

■ 傍 聴 0名

■ 報道機関 0社

■ 事務局職員

保健福祉部

地域包括ケア推進課 横山課長，石岡主査，渡辺主査，田畑主事
介護保険課 高木課長，齊藤主査
高齢福祉課 黒田課長，堀田主査，萬矢主査

■ 会議要旨

石岡主査（地域包括ケア推進課 企画・管理担当）

はじめに、委員の交代について報告する。

函館市医師会の久保田委員の後任に、小西宏明委員、函館市地域包括支援センター連絡協議会の常野委員の後任に四戸悦未委員、函館市町会連合会小倉委員の後任に中村公一委員、函館市居宅介護支援事業所連絡協議会の大日向委員の後任に渡部良仁委員、本日欠席しているが、函館市老人クラブ連合会の山田委員の後任に長嶋正一委員、以上5名の委員に交代があった。

また、北海道看護協会道南南支部所属の委員については、現在、北村委員の後任の委員の手続き中である。

本日出席の新任委員につきましては、一言、ご挨拶をいただきたい。

（新任委員 挨拶）

それでは、これからの議事は、池田会長に進めていただきたい。

池田会長

それでは、資料1について事務局から説明をお願いしたい。

石岡主査（地域包括ケア推進課 企画・管理担当）

（資料1「地域包括ケア「見える化」システムを活用した介護保険事業の現状等の把握について」に基づき説明）

※説明要旨

- ・ この資料は、本市の介護保険サービスの利用状況について、全国や近隣の保険者などとの数値比較や経年変化を分析することで、例えば、本市のサービス利用の傾向や、サービス基盤の整備状況などの現状や特徴などを把握する目的で作成している。
- ・ 本市の計画の進捗状況をご報告する前段として、介護保険を取り巻く状況を俯瞰的な視点でご確認いただき、委員の皆様と共有したいと考えている。
- ・ 経年比較等から、本市におけるサービス提供状況に特異的な動きは見られないと考えている。
- ・ 函館のサービス利用の傾向のひとつとして、5ページのとおり、訪問介護の給付額が最も低くなっている。データ分析からは特に需給環境が悪化している様子は見受けられないと考えており、分析結果は最後のページに記載のとおりとなっている。
- ・ なお、7ページにあるとおり、要介護5の利用回数が令和3年度以降伸びており、考えられる要因などがあればご教示いただきたい。

池田会長

ただいまの説明に対し、何か質問はあるか。

能川委員

自宅で生活をしている高齢者と、アパートなど集合住宅で生活している高齢者に分けた統計調査を行っているか。

石岡主査（地域包括ケア推進課 企画・管理担当）

手元に資料はないが、市独自の調査ではないが、委員のお尋ねに近い統計は国勢調査にあると思う。

能川委員

色々な団体・サークルに参加するのは、個人的には自宅で生活をしている高齢者が多いのではないかと思い質問してみた。町会加入についても、アパートに住んでいる人はあまり加入していないと思うので、データ上もそうなっているかと思い聞いてみた。

池田会長

他に質問はあるか。

三田委員

第2号被保険者についての記載はないが、この計画の対象外となっているのか。

石岡主査（地域包括ケア推進課 企画・管理担当）

第2号被保険者については、要介護（要支援）認定を受けている方が非常に少ないため、認定率や1人あたり給付月額など、第2号被保険者数を加えると平均の値が極端に小さくなってしまような指標には用いていないが、介護保険事業計画の対象であり、所要の数値に反映されている。

三田委員

当該被保険者で、認定を受けている方はどの程度いるのか。

石岡主査（地域包括ケア推進課 企画・管理担当）

令和6年11月末時点で328人となっている。

池田会長

(資料7ページ) 訪問介護の受給者1人あたりの利用回数で、要介護5が増えている要因について、齋藤委員何か心当たりはあるだろうか。

齋藤委員

新型コロナウイルス感染症の影響ではないかと思う。うちの特養でも、毒性の高いコロナに罹患すると、その時は治るが半年ぐらい経過後、亡くなったり介護度が上がっていたりしていた。

要介護5で在宅サービスというのは相当大変だと思うので、持ち家ではなく、訪問介護を運営している老人ホームに入居している方もデータに入っているのではないかと思う。

池田会長

渡部委員、同じ質問だが居宅介護支援事業所として心当たりはあるだろうか。

渡部委員

分らない。令和4年・5年といえば新型コロナウイルス感染症も落ち着いてきていると思う。我々でも要介護5を担当することはほとんどない。減っているなら分かるが、増えているのは分らない。

小西委員

グラフを見ていただくと、平成30年から要介護4の方が増えていっている。その延長線上として、その要介護4の方が、新型コロナウイルス感染症の影響もあるかもしれないが、令和3年から要介護5になっていると思われる。

要介護4・5だけに着目し、函館市の高齢化率と照らし合わせると、別の答えも見えてくるかもしれない。新型コロナウイルス感染症の方は全国的に亡くなられていることが多いので、慎重に判断する必要があると思う。

池田会長

他に何かあるか。

四戸委員

新型コロナウイルス感染症の拡大により、認定調査が期間限定で1年延長となっている。

コロナ禍でサ高住等に入居されている方は、新型コロナウイルス感染症の罹患者が出ると外出禁止となった。介護サービスも使えなくなることもあった。

このような中、認定期間の延長後の3～4年経過後に改めて介護認定を受けると、介護度が悪化している事例が多く見られたようである。認定期間が延長されたことも介護度が上がった一因となっていると思われる。

池田会長

いろいろと意見が出たが参考となっただろうか。

石岡主査（地域包括ケア推進課 企画・管理担当）

いただいた情報などを基に原因を確認したい。

池田会長

では、次の資料2についての説明をお願いしたい。

石岡主査（地域包括ケア推進課 企画・管理担当）

（資料2「計画の進捗状況について」に基づき説明）

※説明要旨

- ・ 資料2は、第1号被保険者数、要介護・要支援認定者数、介護サービス利用者数と費用について、計画と実績を比較し、計画の進捗状況をご報告するものである。
- ・ 第1号被保険者数については、令和5年度と6年度の計画と実績の差が、これまでより広がってきている。推計は、人口動態に基づいて行っているところであるが、次期計画に向け今後の人口の動きを注視したい。
- ・ 要介護・要支援認定率等の状況については、事業対象者が減少し、要支援1・2が増加しているが、令和6年4月の制度改正に伴い、居宅介護支援事業所が、要支援1・2の方のケアプラン作成業務を利用者と直接契約し作成できるようになったことが要因のひとつと考えている。また、要介護5の認定者数が、最近減少傾向となっている。
- ・ 令和5年度および令和6年度の介護サービス利用者数と費用の状況の実績（見込）については、概ね計画どおりに推移している（推移する見込）と考えている。計画と実績の乖離が一定程度あるものについては、指定や休廃止による事業所の増減に伴うもの、利用自体が少ないため、実績が少し変わるだけで増減の割合が大きく動くものとなっている。

池田会長

ただいまの説明に対し、何か質問はあるか。

事務局の説明の中で、要介護5の認定者数が減少傾向にあるが、どのような理由が考えられるか。齋藤委員いかがか。

齋藤委員

函館市自体の傾向として、介護度が高い方が亡くなり、まだ介護度の低い方や介護度のついていない方が増えるのであれば、このような結果になる可能性があるのかと思うが、市の状況をお聞きしたい。

石岡主査（地域包括ケア推進課 企画・管理担当）

要介護度が高い方の割合は、年齢が高くなるにつれて増加するが、今後、本市では８５歳以上の方が増加し、２０３５（令和１７）年～２０４０（令和２２）年にかけてピークを迎えると推計している。

計画では、介護度の高い方も比例して増えていくと思われるが、先ほどの小西委員からのご説明などにあった新型コロナウイルス感染症などの要因が、人口動態にどの程度影響を及ぼしているのかについて考慮する必要があると感じている。

池田会長

小西委員，函館市の新型コロナウイルス感染症による状況はどうなっているか。

小西委員

個人的には全体を把握していないが、全国的には亡くなる方が多い特殊感染症であったことは間違いなく、死亡率は２０２０年以降アルファ株，デルタ株の時に亡くなる方が増えている。

要介護５の認定率減少に関する質問については、グラフ策定にあたってのデータの収集の仕方が点を集めて足し算しているだけなので、年を取るに従って介護度が徐々に上昇といった形よりも、疾病により介護度が上昇するパターンが多いと思う。

申請した方々の介護度が、どのように変化していくのかを確認・集計していくと、何らかのイベントによって介護度が一気に上がっている事例があると思う。個々人の経時変化を見える化していくと、もう少し要因が分かってくるのではないかな。

石岡主査（地域包括ケア推進課 企画・管理担当）

要因分析のために利用しているデータとしては、国の「見える化システム」や「介護保険事業状況報告」などがあるが、個人の変化を追ったデータではないため、他部局のデータで活用できるものがないかについても確認したい。

池田会長

他に何かあるか。

朝倉委員

介護予防訪問入浴介護の費用に関し、計画値と実績値に大きく差があるが、どのような原因が考えられるか。

石岡主査（地域包括ケア推進課 企画・管理担当）

サービスを利用した方の介護度が、計画で見込んだ介護度より高かったことによって、差が生じたと考えている。

朝倉委員

これから使われる方が増えるかなと思い質問させていただいた。

池田会長

他に何かあるか（特になし）。

（特になし）

では、次の資料3についての説明をお願いしたい。

石岡主査（地域包括ケア推進課 企画・管理担当）

各指標の進捗状況についてだが、指標1から3は、令和7年度に実施する「函館市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の結果との比較となるため、今回の会議は、指標4から7の説明となる。各種の説明については、各担当主査からさせていただく。

（指標4以降について、資料に基づき各担当主査が説明）

池田会長

ただいまの説明に対し、何か質問はあるか。

三田委員

指標7の「はこだて医療・介護連携サマリー」とはどのようなものか。

渡辺主査（地域包括ケア推進課 医療・介護連携担当）

医療関係者と介護関係者が双方に情報共有をするために作成したツールであり、一般市民の方には馴染みがないかもしれない。

在宅で介護サービスを使っている方の病気が悪くなり入院することとなった際、普段使っている介護サービスの内容等を病院と情報提供するため、このサマリーを活用することとなる。

三田委員

有効な手段だと思うが、これは義務付けられたものとなるのか。

渡辺主査（地域包括ケア推進課 医療・介護連携担当）

使用の義務付けはないが、便利なものなので、広く活用してほしいと思っている。

池田会長

他に何かあるか。

齋藤委員

指標5の介護予防教室に関連する情報提供であるが、私の施設では、民間教育機関の学習療法を実施している。

一言でいえば脳トレということになるが、18年前から取り組んでいる。

本人に合った難易度の読み書き計算に取り組むことで、脳の前頭前野の血流が良くなるほか、職員とのかかわりを通じて、本人のモチベーションが向上につながっている。向上したモチベーションに体がついていかないリスク管理は必要になるものの、本人の快適な生活につながっていると感じている。絶対ではないが、確実に効果がある人はいる。

学習療法は要介護の利用者を対象としているが、脳の健康教室という要支援など軽度の方を対象にしたものも行われている。

池田会長

成功体験の積み重ねでモチベーションを上げ、介護予防につなげているという説明だった。介護予防教室の実態を確認したく見学したことがあるが、皆が生き生きとした印象で素晴らしいと感じた。他に何かあるか。

他に何かあるか。

(特になし)

それでは、次の資料4についての説明をお願いしたい。

石岡主査（地域包括ケア推進課 企画・管理担当）

(資料4「施設・居住系サービス基盤の整備状況について」に基づき説明)

池田会長

事務局から選定の報告があった。資料4のほか、全体を通して何かあれば伺いたい。

三田委員

高齢者福祉計画・介護保険事業計画は、膨大な量となっているが、一般市民に対する周知はどのようなになっているのか。

石岡主査（地域包括ケア推進課 企画・管理担当）

市ホームページで公開しているほか、町会連合会など関係団体や、地域団体に対し、概要版または冊子版を配布している。また、概要版については、市役所本庁舎や支所などで配付している。

三田委員

丁寧に作られているものであるが、市民はホームページをあまり見ないので、情報周知の徹底を考えていただければと思う。

石岡主査（地域包括ケア推進課 企画・管理担当）

ご意見として賜りたい。なお、概要版とは異なるものとなるが、計画の改定の際には、市民に関わりの深い保険料を含め、介護保険制度の概要等に関して、市政はこだての折り込み記事を作成し、配布・周知している。

池田会長

他に何かあるか。

（特になし）

なければこれで終了し、事務局に返したい。

石岡主査（地域包括ケア推進課 企画・管理担当）

それでは以上で本日の会議を終了とさせていただきます。ありがとうございました。